

## CAD/CAM臨床における院内技工士の役割を考える

~よりよいチーム医療のために~

大内優歩

Yuho Ouchi



よりよいチーム医療のためにはクリニック内におけるスタッフ間の連携が鍵になる。しかしながら、各々の専門分野の違いによる知識の相違があるのは当然のことであり、それ故、情報共有に 関し悩みを抱えている方も多いのではないだろうか。院内技工最大のメリットは、直接患者様からの要望を聞く歯科医師やDH・DAと同様に、DTも 自らチェアサイドに立ち合うことで密に情報を共有できる点にある。その結果、情報を補綴修復物に反映することができ、さらにエラーを未然に防ぐことにもつながる。今回は院内技工士という観点から、主にCAD/CAM臨床における院内技工士の役割について、以下の3つの要点に分けて考えてみたので報告する。

1. 確認
2. 共有
3. 反映

上記の要点について、当院のチェアサイドならびにラボサイド双方のチームとしての取り組みについて発表させていただき、みなさまの忌憚のないご意見をいただければ幸いである。